



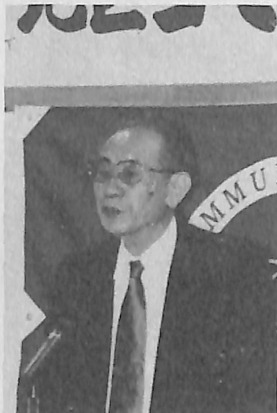
第一地区コミュニティぬまづ

沼津市第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第13号 平成12年4月1日発行

『コミュニティつれづれ』

コミュニティ推進委員会

副会長 岡田 重義



平成九年第一地区コミュニティセンターが開設され既に四年目を迎え、その利用・活用はますます増えて、大変喜ばしいことと思います。

センターの出来る以前は、今顧みますと、各町内の公民館を持ち回りで座敷に座り、家族的に話し合い、行政や複雑な仕事も少なく、自治会を中心にまああまの寄り合い会合で、親しみやすかったような気がします。

隣組が組織的になり行政が加わることにより、今の形態になったのようですが、行政の縦割り組織になっては、真のコミュニティ活動は遠くなりはいない

か、互いに協力し合う自治会中心の活動が望ましいと思います。

各自治会は特色も内容も違うのに、画一的に役員組織をつくらうとすると、どこか無理があるような気がします。

誰もが望む豊かな住みよい街も、進んで社会奉仕をしようとする者が多く出ない限り難しく感じられます。

これから都市化というか核家族、マンション化が増え、益々自己中心的になり、少々金はあるが、奉仕とか役員になりたがらないなど非協力的で手を出さない傾向になりつつあります。

この間、ゴミ問題で従来使用していたゴミステーションが使えなくなり、組長と何度も相談し、組長は組の人達と話し合い各自店の前を提供して収集することになりました。この問題を通して、協力し共に考え、お互いを思いやり支え合う心の大切さを感じました。この話し合いによって、町内に活力が沸いたように思いました。

コミ活動を振り返って

コミュニティ推進委員会

事務局長 出口 明 廣

地域を愛する心で更に飛躍を

平成八年十二月に設立、翌年四月に第一地区センターの開館とともに具体的な活動を始めた第一地区コミュニティ推進委員会の事務局長を務めさせていただき三年が経過しました。

我々第一地区コミュニティ推進委員会は、市内外の同様の組織と比較しても、決して遜色ない活動が行われていると自負しています。それには幾つかの理由があるかと思いますが、私なりに大きく三つに区分してみました。

一つには、我々の第一地区が沼津市の中心部としての機能を担っていることが挙げられます。「沼津市を発展させていくのは

素晴らしい街・コミュニティをつくるには、一人一人が協力し合う心がなければ成り立たないと思います。

我々なんだ！」という良い意味での地域の連帯感があります。この連帯感が大きな力となって新しい行事として「コミュニティ祭」を提案したときにも皆様のご協力のもと盛大に行われ、第一地区コミュニティに新たな一ページを開いたことは、未だ記憶に新しいところです。

二つには、人口の減少に伴う危機感の存在が挙げられます。近年、店は市街地で住まいは郊外という方が増えてきました。

長い歴史と伝統に輝く母校の第一小学校も年々児童数が減り自治会によっては単独で子供会の行事さえ行うことが困難という所もあります。

この為「このままでは第一地区はよくならない」という気持ちからコミュニティの原点である「相互助け合い」という一体感（次ページ下段へ続く）

青少年育成部・成人式

一月十日・新成人を祝う

多彩な企画で盛り上げる



第一地区成人式が、一月十日、新成人七十五名が出席し開催され、多くの来賓や父兄から祝福され、決意も新たに大人のスタートをしました。

今後は新たな企画を

毎年、成人式の企画会議のなかで、アトラクションを検討しますが、成人者が同窓会化してしまい、良案がありませんでした。そこで成人者自



⇒中学生のリードで

全員で市民憲章を

⇒新成人にお祝いの

挨拶をする小学生

身が、小、中学生時より参加する「二十歳の自分へのメッセージ」の提案をしました。卒業時に二十歳になったときの自分への手紙を書き、成人式の時に本人に手渡すというものです。

この案を学校に話しましたところ、中学校では、自分たちでタイムカプセルをつくり成人式に開封する予定のとこと、小学校のークラスでも同様の計画が進行中ということでした。

私たち育成部が企画しなくても、自分たちで成人式を盛り上げる考えを持った小、中学生に大変感激し、今年の卒業生の成人式が楽しみです。

青少年育成部は、成人式以外にも多くの事業(納涼祭、体育祭、コミ祭)や年二回の研修会、他団体への協力(私の主張、子供の遊び王国他)等、青少年の健全な育成のために大いに支援をしています。

(青少年育成部・酒井 明)

(前ページ下段より続き)

が生まれ育っていることです。三つには、皆様の熱意と良きリーダーの存在が挙げられます。

それぞれの要因の結果「地域の活性化」という皆様の熱意が一つになり、一つ一つの行事を盛り上げてきました。

そして会長を始めそれぞれの委員の方々の「何としてもコミュニティ活動をとおして活性化を」の気持ち、多くの方々を引っ張り、今日のコミュニティ活動の基礎になったといっても過言ではないでしょう。

この三年間色々なことがありました。委員会発足に先立

平成12年度 コミュニティ推進委員会 定時総会

★とき・5月19日(金)
午後7時より
★ところ・第一地区センター



出口事務局長

ち市の担当者と何日も夜遅くまで議論したこと、地区センターの建設に心躍らせたこと地区センターの運営は大丈夫かなと思いついたこと、行事を前に手抜きはなかっただろうかという不安など・・・しかし皆様の熱意がそうした不安を一つ一つ解決してくれました。

我々のコミュニティはまだ生まれたばかりです。これから経験を積み少しずつ大人になっていかなければなりません。これまでの皆様のご協力に感謝申し上げますとともに「健康で明るく住みよい街づくり」を目標にして、いま皆様が抱えている「地域を愛する心」をこれからも持ちつづけることが、この第一地区を良くし、コミュニティ活動を更なるものにしていくものだと思います。

体育部

平成12年度体育部の主な行事予定

月	体育部主催行事
4	沼津市長杯バレーボール大会
5	バレーボール教室
	軽スポーツ大会
6	夏季ソフトボール大会
	バレーボールリーグ戦
7	ソフトボール審判講習会
8	夏季バドミントン大会
10	バレーボール教室
11	秋季ソフトボール大会
	男女混合バレーボール大会
1	歩け歩け運動・初打ワットボール大会
	初アタックバレーボール大会
2	男女別バレーボール大会
	軽スポーツ大会
3	春季バドミントン大会
	春季ソフトボール大会

月	対外行事参加予定
6	沼津市軽スポーツ大会
7	市民綱引大会
8	県父親ワットボール沼津地区大会
10	ぬまづ健康スポーツ祭
11	教育長杯バレーボール大会
	シニアソフトボール大会
2	市駅伝競走大会
3	弥生杯バレーボール大会

第一校区 どんど焼き

1月16日
第一小学校

写真提供：市川 保さん

趣味の教室・学ぶ楽しみを
新たに着付け教室が開講

平成九年度よりボランティア

ア講師のご協力により趣味の
教室を開講しております。各教室とも皆さん熱心に活
動されており、地域での出会
い・ふれあい・学び合いの場
となっております。この輪をさらに広げて行く
ため、今年も講師のご協力で
各教室を開講いたします。今年は新たに着付け教室が
開講いたします。既に回覧で皆さまには案内
しておりますが、改めて教室
と講師の紹介をいたします。

◇茶道入門教室

東海庵龍子さん(末広町)

◇生花教室(入門コース)

加藤 翠風さん(真砂町)

◇大正琴初級教室

小野けい子さん(添地町)

◇洋菓子教室

杉山 智さん(市役所)

◇書道入門教室

井口八千喜さん(町方町)

◇着付け教室

坂井 秀代さん(大手町)

以上の6教室です。

これからも人と人とのふれ
あいを大切にする「場」をつ
くって行きたいと思えます。

(教育文化部・望月ふみえ)

ゴミの分別収集

もう一度正しい出し方を

ゴミの新たな分別収集を始
めて丁度一年が経過しました。
スタート時は皆さんが熱心に
取り組んでよい環境になりま
したが、最近は次のような問
題が出てきております。

一、決められた日の朝8時迄
二、分別して決められた日に
決められた場所に

三、古紙は、白い紙紐で
四、プラスチックゴミは食品

残差を取り除き、汚れを
洗い落とすか拭き取って
お互いに正しい出し方をして、迷惑を掛けないように心
掛けましょう。

(環境美化指導部)



「住みよい街づくり」をテーマに

第一中学校・福祉体験学習を行う

第一中学校では、二月十八日(金)に一・二年生達が、「住みよい街づくり」をテーマに福祉体験学習を行いました。

生徒たちは「車椅子」「アイマスク」「デイサービス」の3グループに別れ、障害者やお年寄りにとっての街づくりや介護の仕方などを体験しました。



この体験学習は、新しく導入されます「総合的な学習」として、生徒たちが「生きる力」を身につける事が出来るよう計画されたものです。

「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力や資質を身につけると」それが生きる力です。

車椅子やアイマスク、デイサービスを体験することによって、老人や障害者の生活に不都合な面を発見し、その問題を生徒自らがどのように解決していくかの学習を主なねらいとしたものです。

問題点(課題)も各教科の枠を越えて発見し、それを生徒自身が解決するのです。

「教わることから、自ら学ぶことへ」がこれからの教育のポイントとなるでしょう。

(第一中学教頭・林 幹人)

開館四年目を迎えた「第一地区センター」

七万八千人が利用

「地域ふれあいの場」として三年前に誕生した第一地区センターは、市街地の中心という立地条件に恵まれ、地域の各種活動を始め社会教育、社会体育・文化、官公庁、学校PTA関係団体など、すでに三千五百回、七万八千名の方々が利用しています。

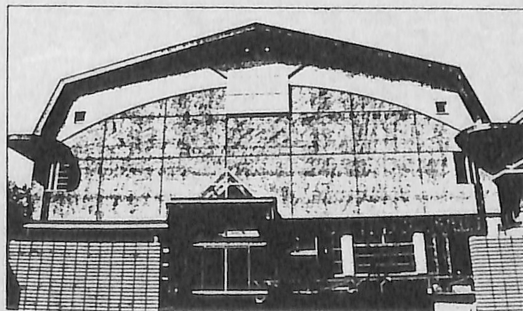
地域の皆さんが活き活きと活躍している姿は頼もしく、特に納涼祭のバザーのときには開場前から長い行列をつくる賑やかさ、コミュニティ祭のときも早朝から大勢の方が訪れ祭りを楽しんでいるのを

見るとうれしくなります。隣の第一小学校の生徒が調理実習室で料理やお菓子づくり、また和室では茶道教室も行われ行儀作法など教育の一環としても良い勉強の場となっております。

子供たちが会館の出入りに「こんにちわ」「ありがとうございました」と大きな声でする挨拶の清々しさ。最近、挨拶が薄らいでいるなか正に

「第一地区センター」の休館日
4月・3.10.17.24.30.
5月・1.3.4.5.8.15.22.29
6月・5.12.19.26.
☎63-5088☎

第一地区センター



子供たちに教えられる思いです。

今年で四年目を迎える第一地区センター。まだ一度もみえたことのない方がいるとお聞きしますが、ぜひ一度いらしてください。

この素晴らしい施設を一人ひとりが大切に使用して、何時でも楽しく和やかな「ふれあいの場」として利用できるようお互いに心掛けましょう。事務所員一同、心より皆さまのご来館をお待ちしております。気軽に声をお掛けください。

(事務所長 野尻 治男)

編集室だより



▼コミュニティ推進委員会が発足して早くも四年目。過去を見直し、原点にかえって、新しい輪(和)を広げよう。

▼新しく推進委員になった方も、継続される方もお互いに協力し、より良い街づくりのリーダーとして、よろしくお願ひします。